

診療情報管理士
専攻科

授 業 科 目	医療事務 (医科Ⅲ)			担 当 者	占部 千亜紀		実務経験
							○
履 修 方 法	演 習	期 間	前 期	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数	9 0

授業の目的・内容

複雑な施設基準や届出の状況があるカルテを読み解き、正確なレセプトを作成し、医療保険制度の全体の概要を理解する。

到達目標

- ・診療報酬請求事務能力認定試験に合格する。

授業計画

【前期】

1～3.	検定過去問題による演習①
4～6.	〃 ②
7～9.	〃 ③
10～12.	〃 ④
13～15.	〃 ⑤
16～18.	〃 ⑥
19～21.	〃 ⑦
22～24.	〃 ⑧
25～27.	〃 ⑨
28～30.	〃 ⑩
31～33.	〃 ⑪
34～36.	〃 ⑫
37～39.	〃 ⑬
40～42.	〃 ⑭
43～45.	〃 ⑮

事前・事後学習の内容

- ・過去問題のポイントをきちんとまとめる。
- ・添削返却されたレセプトを見直し、間違えた箇所を把握し理解する。

評価の方法・基準

- ・検定結果 (100%)

教科書

- ・『診療報酬請求事務能力認定試験 受験対策と予想問題集』(医学通信社)
- ・『診療点数早見表 (医科)』(医学通信社)
- ・『医療事務 医科』(医療事務研究所)

備考

医療機関での医療事務職員経験を持つ教員が、検定に合格にするためのポイントの解説をする。

授 業 科 目	医療管理総論			担 当 者	大藤 雅子		実務経験
							○
履 修 方 法	講 義	期 間	前 期	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数	30

授業の目的・内容

現代日本の医療の在り方や制度を学び、収集すべきニーズのある情報を正確につかむことのできる人材となることができるよう、医療関連の法規定についての理解も深め、医療機関における診療情報管理士の価値と信頼の獲得できる知識を身に付ける。

到達目標

- ・ 日本の医療制度を理解し説明することができる。
- ・ 医療関連の法規定を理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. 医療資源とは①
2. " ②
3. 医療保障と国民医療費①（日本の医療制度）
4. " ②（諸外国の医療制度）
5. " ③（国民医療費の動向）
6. 日本の人口推移の現状と課題
7. 医療需要と医療供給、顕在需要と潜在需要
8. 地域医療
9. 医療の提供構造
10. 医療計画
11. 医療関連の法規定①（医療法）
12. " ②（介護保険法他）
13. " ③（健康増進法他）
14. " ④（感染症法他）
15. まとめ

事前・事後学習の内容

- ・ 講義で学習したキーワードについての整理
- ・ 講義で学習した範囲の問題集への取り組み
- ・ 前回講義内容のテキストの読み直し

評価の方法・基準

- ・ 出席状況(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価

教科書

- ・ 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門1章～7章 第8版』（一般社団法人 日本病院会）

備考

DPC 病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき医療情勢について解説する。

授 業 科 目	医療管理各論 I			担 当 者	大藤 雅子		実務経験
							○
履 修 方 法	講 義	期 間	前 期	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数	30

授業の目的・内容

『病院』の組織としてのあり方を学び、情報を活用した経営を行うことで健全で安全な医療提供に貢献できる診療情報管理士、チーム医療の一員として活躍できる診療情報管理士となるための知識を身に付ける。

到達目標

- ・病院組織を理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. 病院の経営管理①プロセス、組織と機能
2. " ②管理と組織
3. " ③財務・経営管理
4. " ④人事・労務管理、施設管理
5. まとめ①
6. 医療管理①診療部門
7. " ②看護部門
8. " ③メディカルスタッフ (1)
9. " ④ " (2)
10. " ⑤ " (3)
11. " ⑥スタッフ機能とライン機能
12. " ⑦ 病院業務の安全と清潔
13. チーム医療①
14. " ②
15. まとめ②

事前・事後学習の内容

- ・講義で学習したキーワードについての整理
- ・講義で学習した範囲の問題集への取り組み
- ・前回講義内容のテキストの読み直し

評価の方法・基準

- ・出席状況(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価

教科書

- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門1章～7章 第8版』（一般社団法人 日本病院会）

備考

DPC 病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき病院管理と保険制度について解説する。

授 業 科 目	医療管理各論Ⅱ			担 当 者	大藤 雅子		実務経験
							○
履 修 方 法	講 義	期 間	前 期	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数	30

授業の目的・内容

超高齢社会において高騰する社会保障費問題の是正化に貢献し、変遷する医療・介護保険制度に適宜対応できる診療情報管理士、安全と医療の質を支えることのできる診療情報管理士となるための知識を身に付ける。

到達目標

- ・ 医療、介護保険制度を理解し説明することができる。
- ・ 医療安全を理解し説明することができる。
- ・ 医療の質を理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. 医療保険制度①
2. " ②
3. " ③
4. DPC①
5. " ②
6. " ③
7. 介護保険制度
8. まとめ①
9. 安全管理①
10. " ②
11. 昨今の医療事故症例
12. 医療の質管理①
13. " ②
14. 診療情報管理における診療報酬請求データの活用
15. まとめ②

事前・事後学習の内容

- ・ 講義で学習したキーワードについての整理
- ・ 講義で学習した範囲の問題集への取り組み
- ・ 前回講義内容のテキストの読み直し

評価の方法・基準

- ・ 出席状況(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価

教科書

- ・ 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門1章～7章 第8版』（一般社団法人 日本病院会）

備考

DPC 病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき医療安全と質の管理について解説する。

授 業 科 目	診 療 情 報 管 理 論 I			担 当 者	大 藤 雅 子		実務経験
							○
履 修 方 法	講 義	期 間	前 期	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数	3 0

授業の目的・内容

診療情報管理士として院内スタッフに信頼される業務を遂行できるよう、コンプライアンスを徹底できる基礎知識を習得し、医療の未来に貢献することを可能とする情報管理を行うことのできる人材となるための知識を身に付ける。

到達目標

- ・診療情報管理士資格を理解し説明することができる。
- ・診療情報管理関連法を理解し説明することができる。
- ・診療情報管理、医師事務作業補助業務を理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. 診療情報管理の意義と役割、歴史
2. 診療情報管理と法規等①（記載と保存について）
3. " ②（電子化、提示について）
4. " ③（医療事故対応について）
5. " ④（個人情報保護について①）
6. " ⑤（ " ②）
7. " ⑥（ " ③）
8. まとめ①
9. 診療記録の記載方式
10. 診療情報の記載①
11. " ②
12. " ③
13. 医師事務作業補助者業務について
14. がん登録の実務について
15. まとめ②

事前・事後学習の内容

- ・講義で学習したキーワードについての整理
- ・講義で学習した範囲の問題集への取り組み
- ・前回講義内容のテキストの読み直し

評価の方法・基準

- ・出席状況(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価

教科書

- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理IV 専門8章～12章 第9版』（一般社団法人 日本病院会）

備考

DPC 病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき法令・諸規則について解説する。

授 業 科 目	診 療 情 報 管 理 論 Ⅱ			担 当 者	大 藤 雅 子		実務経験
							○
履 修 方 法	講 義	期 間	前 期	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数	3 0

授業の目的・内容

情報のあり方が常に変化する時代の中で、診療情報管理士として各現場に最適な形での情報管理を行うために必要な知識を習得し、精度の高い情報管理で徹底した業務を行うことができる人材となるための知識を身に付ける。

到達目標

- ・ 診療情報管理媒体、その運用を理解し説明することができる。
- ・ DPC 制度を理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. 診療情報管理士と私
2. 診療情報管理士の基本業務
3. 紙カルテ運用における診療情報管理①
4. " ②
5. 電子カルテ運用における診療情報管理①
6. " ②
7. 診療情報の提供に係る業務
8. 診療情報管理士による改善への取り組み①
9. " ②
10. 院内スタッフとしての診療情報管理士
11. まとめ①
12. DPC 制度と実務①
13. " ②
14. " ③
15. まとめ②

事前・事後学習の内容

- ・ 講義で学習したキーワードについての整理
- ・ 講義で学習した範囲の問題集への取り組み
- ・ 前回講義内容のテキストの読み直し

評価の方法・基準

- ・ 出席状況(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価

教科書

『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ 専門8章～12章 第9版』（一般社団法人 日本病院会）

備考

DPC 病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき実務の内容について解説する。

授 業 科 目	国際統計分類 I			担 当 者	大藤 雅子		実務経験
							○
履 修 方 法	講 義	期 間	前 期	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数	3 0

授業の目的・内容

わが国の人口動態統計のしくみと意義を理解する。国際疾病分類（ICD）についての理解を深め、その歴史と現在の現状、概念・種類・目的及び診療録に記載する内容に関して定められたルールを学び、分類コードをつけるための理論と技法を修得する。

到達目標

- ・ ICD 及び WHO-FIC を理解し説明することができる。
- ・ 原死因選択等の ICD 利用のルールを理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. 国際疾病分類とわが国での利用
2. 国際疾病分類の歴史
3. 国際疾病分類の現状と課題
4. 国際統計分類ファミリー論
5. 主要病態の選択ルール①
6. " ②
7. " ③
8. 原死因の選択ルール①
9. " ②
10. " ③
11. まとめ①
12. 国際疾病分類の利用①
13. " ②
14. " ③
15. まとめ②

事前・事後学習の内容

- ・ 講義で学習したキーワードについての整理
- ・ 講義で学習した範囲の問題集への取り組み
- ・ 前回講義内容のテキストの読み直し

評価の方法・基準

- ・ 出席状況(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価

教科書

- ・ 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ 専門 8 章～12 章 第 9 版』（一般社団法人 日本病院会）

備考

DPC 病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき ICD 及び WHO-FIC について解説する。

授 業 科 目	国際統計分類Ⅱ			担 当 者	大藤 雅子		実務経験
							○
履 修 方 法	講 義	期 間	前 期	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数	3 0

授業の目的・内容

診療情報管理士としての業務の軸となるコーディングの知識を正確に習得すること、また ICD の各章の疾病分類体系を理解することで、より精度の高い情報収集に貢献できる人材となるための知識を身に付ける。

到達目標

- ・ コーディングの基本を理解し説明することができる。
- ・ 各章の疾病分類体系を理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. コーディングの基本
2. 「内容例示表」と「索引表」の使用方法①
3. " ②
4. " ③
5. 複数病態分類、複合病態分類及び二重分類
6. 各章の疾病分類体系の理解① (1・2・3章)
7. " ② (4・5・6章)
8. " ③ (7・8・9章)
9. " ④ (10・11・12章)
10. " ⑤ (13・14・15章)
11. " ⑥ (16・17・18章)
12. " ⑦ (19・20・21章)
13. 原死因演習①
14. " ②
15. まとめ

事前・事後学習の内容

- ・ 講義で学習したキーワードについての整理
- ・ 講義で学習した範囲の問題集への取り組み
- ・ 前回講義内容のテキストの読み直し

評価の方法・基準

- ・ 出席状況(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価

教科書

- ・ 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ 専門8章～12章 第9版』(一般社団法人 日本病院会)

備考

DPC 病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき ICD コーディングについて解説する。

授 業 科 目	総合演習			担 当 者	大藤 雅子		実務経験
							○
履 修 方 法	演 習	期 間	通 年	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数	270

授業の目的・内容

診療情報管理士資格取得を目的として、基礎・専門・分類過程のそれぞれの問題集・模擬問題を使用し、全般的な演習を行い、合格するための知識を身に付ける。

到達目標

- ・診療情報管理士認定試験に合格することができる。

授業計画

【前期】				【後期】			
1～3.	基礎	2章人体構造・機能論	復習①	46～51.	基礎・専門・分類	模擬問題①	
4～6.	基礎	〃	②	52～57.	〃	〃	②
7～9.	基礎	〃	③	58～63.	〃	〃	③
10～12.	基礎	3章STQ・4章AB	復習①	64～69.	〃	〃	④
13～15.	基礎	〃	②	70～75.	〃	〃	⑤
16～18.	基礎	〃	③	76～81.	〃	〃	⑥
19～21.	基礎	5章CD・6章DE	復習①	82～87.	〃	〃	⑦
22～24.	基礎	〃	②	88～93.	〃	〃	⑧
25～27.	基礎	〃	③	94～99.	〃	〃	⑨
28～30.	基礎	7章FGH・8章IJ	復習①	100～105.	〃	〃	⑩
31～33.	基礎	〃	②	106～111.	〃	〃	⑪
34～36.	基礎	〃	③	112～117.	〃	〃	⑫
37～39.	基礎	9章KN・11章LM	復習①	118～123.	〃	〃	⑬
40～42.	基礎	〃	②	124～129.	〃	〃	⑭
43～45.	基礎	〃	③	130～135.	〃	〃	⑮

事前・事後学習の内容

- ・講義で学習したキーワードについての整理
- ・講義で学習した範囲の問題集・模擬問題への取り組み

評価の方法・基準

- ・出席状況(10%)、授業態度(10%)、小テスト(80%)によって総合的に評価

教科書

- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編 第8版』（一般社団法人 日本病院会）
- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅱ 基礎・医学・医療用語編 第8版』（一般社団法人 日本病院会）
- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門1章～7章 第8版』（一般社団法人 日本病院会）
- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ 専門8章～12章 第9版』（一般社団法人 日本病院会）
- ・『診療情報管理士教育問題集（基礎・専門1～7章・8～12章）』（一般社団法人 日本病院会）

備考

DPC 病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき基礎医学及び専門知識について解説する。

